

2021 年度 9 月 全国有名国公私大模試 地理 B 採点基準

1 単答記述問題

- ① 誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。
- ② 漢字で書くべき用語（例：扇状地）をひらがなで書いてある場合は 0 点。
- ③ 日本の地名（例：茨城県）については漢字で正確に書かれていなければ 0 点。
- ④ 中国・韓国の地名（例：ペキン（北京））については，漢字・カタカナのいずれかで正しく書かれていれば正解とする。
- ⑤ その他の地名や地理用語について，スロヴェニア⇔スロベニア，パキスタン⇔パーキスターンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては正解と認める。

2 論述問題

以下の設問別加点基準で加点（その他各問題の主旨に適した解答には，適宜加点。ただし，満点は越えない。）



以下の共通減点要素で減点

共通減点要素

- ① 加点要素に関わる誤字脱字および漢字の間違いは 1 点減点。
- ② 字数オーバーは 0 点
- ③ 明らかに文章の構成が誤っている場合，論理が合わない場合などは 1 点減点。
- ④ 指定語句に下線をつける問題で，下線が引き忘れてある場合は 1 問につき 1 点減点。
(指定語句は，解答中のどこかで使用していればよい。
加点ポイントの脱落による減点がある場合は，指定語句抜けの減点は不要。)

(*減点しなくていい要素，その他の注意)

- ① 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。
- ② 文章が未完のものは減点しない。
- ③ 以下の基準における加点項目は，内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

3 採点記号

1	<□□□□>	加点ポイント
2	□□□□x	事実誤認あり
3	□□□□?	文意不明
4	□□✓□□	誤字あり／脱字あり

4 設問別加点要素

- 1) 部分は必須キーワードであり、この表現がなければ加点しない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」と「 B 」→1点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば1点加点する。

3

問 2(2) 5点 [指定語句] 原油価格 製鉄 2つ全て 下線付きで使用

(※下線の付け忘れは1点減点)

石炭資源に乏しく木炭も製鉄に用いられ、原油価格の高騰を受けて、さとうきびを原料とするバイオ燃料の消費量が増えたため。

【加点ポイント】

★問1「P: ブラジル」の正解を、加点の前提とする

- ① (「バイオ燃料」について) さとうきびを原料とする →1点
- ② (①が多い理由) 原油価格の高騰／石油危機後の原油価格の上昇 →1点
- ③ (「バイオ燃料」について) 製鉄に木炭が使われる／木炭製鉄が盛ん →2点
- ④ (③の理由) 石炭資源に乏しい／炭田が少ない／古期造山帯が無く石炭が分布しない →1点

4

問3(2) 7点

r は床下の風通しを良くして高温多湿を和らげるために、s は暖房の熱が伝わって永久凍土が融け、家が傾くのを防ぐために、高床式住居にしてある。

【加点ポイント】

- ① (共通の特徴) 高床式 →2点
- ② (r について)

・風通しを良くする／高温多湿を和らげる	}	1つ1点 2点まで
・害虫(害獣)の侵入を防ぐ		
・豪雨時の床上浸水を防ぐ／浸水被害を防ぐ		
- ③ (s について) 永久凍土 →1点 (※「凍土」では加点しない)
- ④ (s について) 暖房の熱が①に伝わるのを防ぐ／屋内の熱で①が融けるのを防ぐ →1点
- ⑤ (s について) 家が傾くのを防ぐ／家屋の損傷を防ぐ →1点